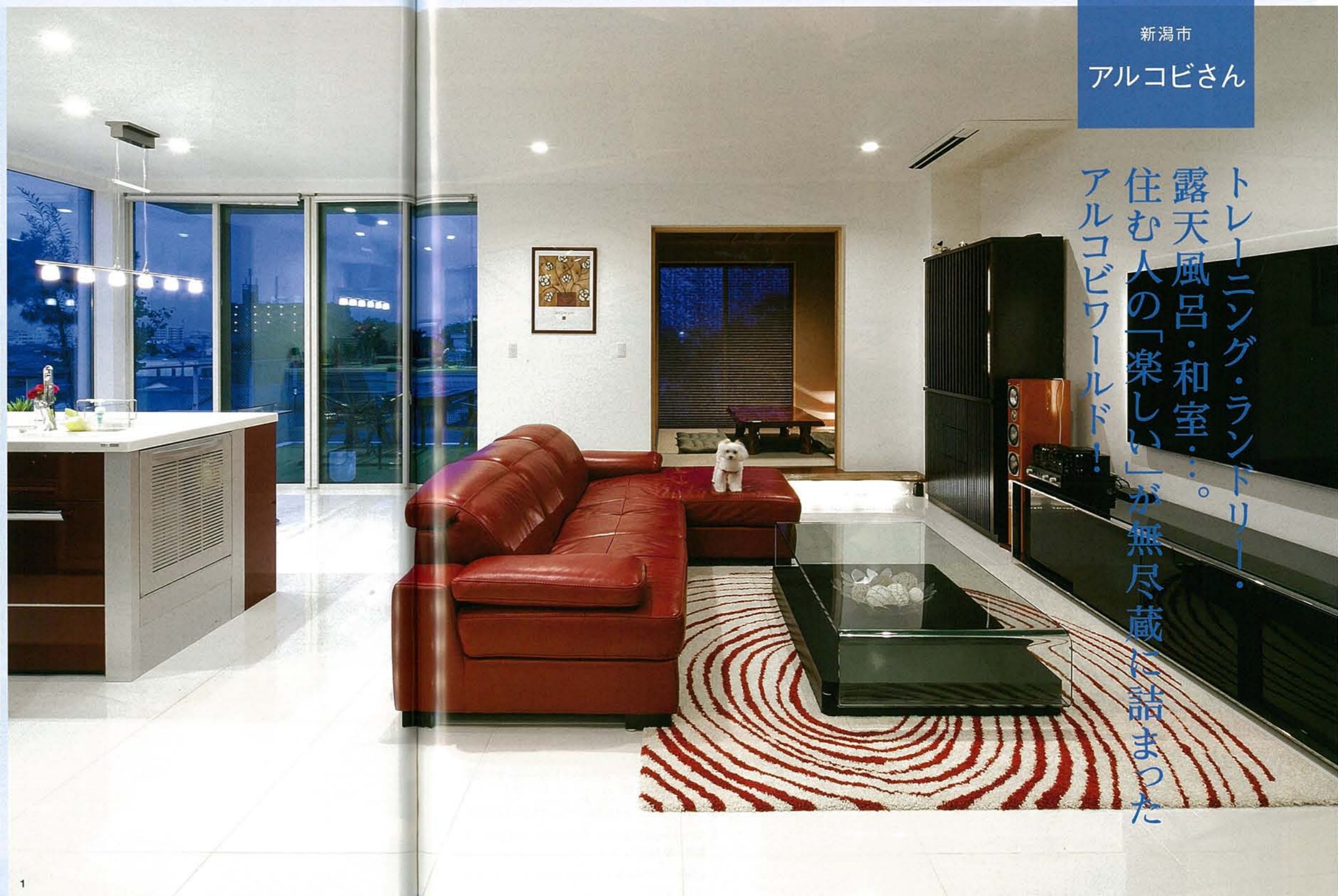


トレーニング・ランドリー・露天風呂・和室……。住む人の「楽しい」が無尽蔵に詰まったアルコビワールド！



3を基調にした32畳のシンプルなLDK。SE構法は柱や間仕切り壁が少ないため、大開口部や吹き抜けの大空間などを高い安全性を確保したまま実現できる  
「イニングからすぐ眺めのいい外のデッキへ。テーブルには卓上コンロが収納されている。夫婦共働きだから、芝刈りしなくてもいい人口芝を敷いて」とアルコビさん  
和室は絶対欲しかった」という掘りコタツ形式の和モダンな空間  
階の吹き抜け空間の回り(3階部分)は回廊形式になっている。壁だけで建物を支えるのではなく、骨組み全体で支えるため、安全性も確保できる

1

「自転車で海辺近くの高台を走っていたら、この土地に巡り合ってしまった。街中なのに海がすぐ近くにあり、隣が松林で裏は閑寂になる小学校のグラウンドだけど、今後は災害時の緊急避難場所になるため、隣も裏も建物が建たない。そう思った瞬間「よし、ここにマイホームを建てよう」と思った」と、流ちょうな日本語で理想の土地に出合った話をするアルコビ・リチャード・ロテムさん。1989年に初めて故郷イスラエルから日本を訪れた。1枚の旅のパンフレットから偶然、新潟を旅して、新潟の風土や人の温かさが忘れられず、1991年、再び来日。以来、大学で学んだ建築学を生かし、新潟で建設業登録許可を取得。1996年から店舗や住宅の建築を手掛けている。  
完成したご自宅は、アルコビ夫妻が暮らしていく上で「日々、楽しい」が随所に盛り込まれている。  
1階は大型の車が2台入るビルトイン形式の車庫とその奥にトレーニング機器を備えたオシャレなジムスペース。2階は吹き抜けの

ある32畳のLDK。白いタイルの床が夏はひんやり、冬は床暖房でぬつくりと心地いい。その先に開放的なオーブンデッキが続く。街中の明かりや佐渡汽船の船の姿を眺めながら、備え付けの卓上コンロで焼き肉にビールで乾杯！改めてアルコビさんが土地の環境や立地にこだわった意味がうなづける。もう一つ、2階には大好きな掘りコタツに畳の和室も設けてある。「畳は気持ちよやすらぐから大好き」とスマイル。  
3階はご夫婦の「これは外せない」という提案がカタチになっている。ホテルライクな落ち着いた雰囲気のある露天風呂だ。「露天風呂の石は十和田の石で、床はマインスイオン効果のあるヒノキね」と日本のお風呂大好きな心が伝わってくる。



5



7

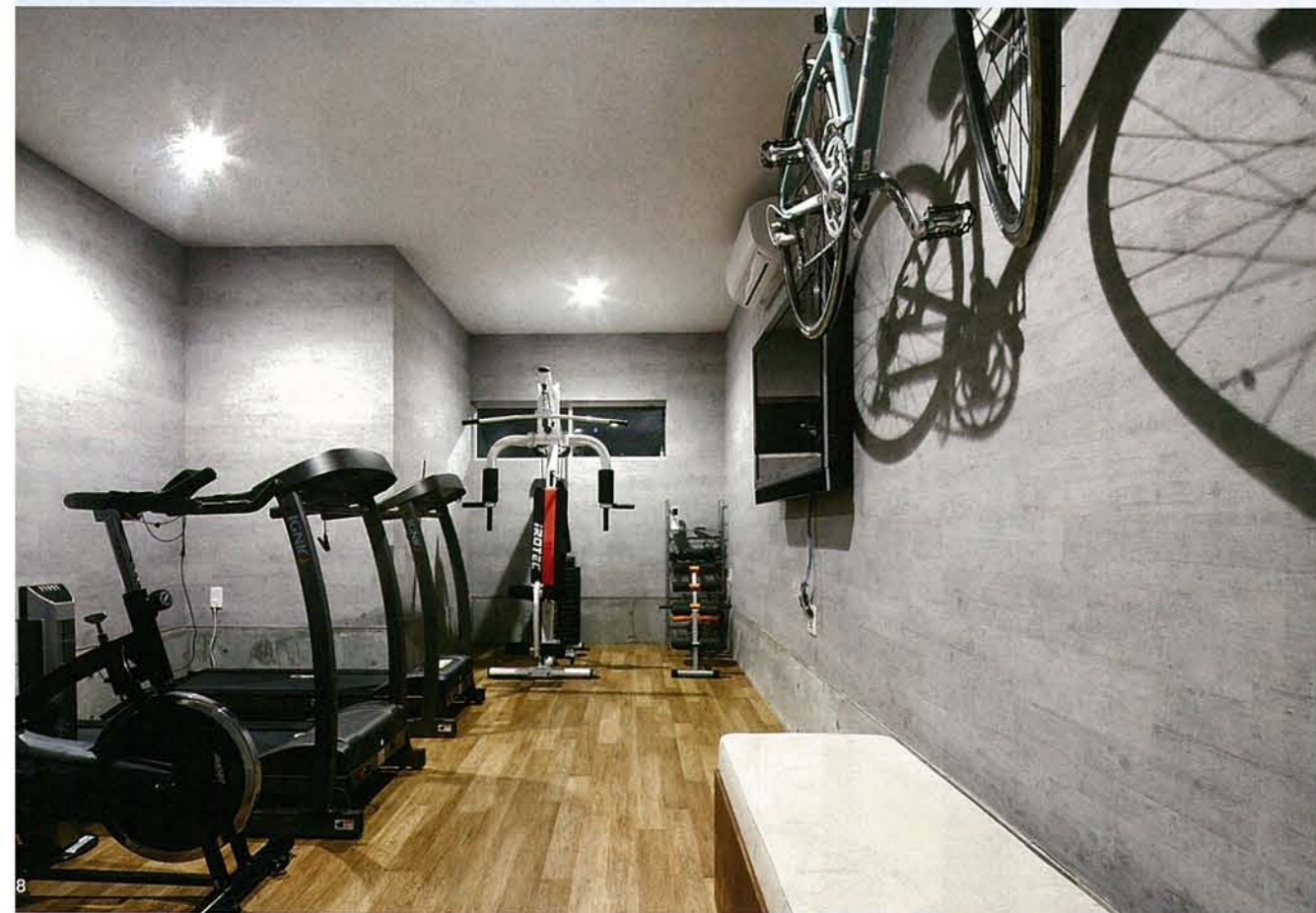
6

見た目だけではなく、構造部分も  
木造の強度革命といわれる  
「SE構法」で耐震性にも配慮を！

アルコビ夫妻の夢を盛り込んだ3階建てだが、当初はこの間取り図を構造設計の事務所を持ち込むと、「実現できない」という答えが返ってきたという。新潟市は多雪地域のため、積雪100cmに耐える構造設計が必要で、約7mのスパンを飛ばしたビルトインガレージの上に吹き抜けのあるLDKが配置され、しかも開口部が広いプランでは、木造在来工法でも2x4工法でも必要な構造強度を確保することが困難とのこと。「ビルトインガレージを採用する場合、RC造り（鉄筋コンクリート構造）がセオリー。だけど、コストが高いので木造で建てたい」そんなアルコビさんの悩みを解消してくれたのが「SE構法」だった。柱と梁を強度の金具で接合し、耐震性を考慮し、構造計算もきちんと行う。SE構法で自分の想い描いたマ

ビさん。「生活のスタイルも変わり、朝が弱かったのに、早くに起きてジムで汗を流したり、好きな洗濯をして健康的になった」と奥様も満足そう。従来は店舗設計・施工が中心だったが、このマイホームがきっかけに「それぞれのドリームに合わせて、デザイン性の高い、「自慢したくなる家」を実現していきたい」と語ってくれた。

- 8 1階の駐車場の奥にあるトレーニングルーム。各種トレーニングマシンを備えたジムスペースには、趣味の自転車もインテリアに
- 9 新潟の海辺近くに建てた木造3階建てのアルコビ邸外観。1階は駐車場とジムスペース。2、3階が居住スペース



8



9